

33. その他の小児固形腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
					体外照射	小線源治療	治療内容		治療実績	医師の専門分野				
1	小児科	2	2	状況	○	○	×	×	化学療法・手術・放射線治療・各種造血幹細胞移植など集学的治療を行い治療成績の向上をめざしています。治療中の子供たち・ご両親の生活の質(Quality of life)向上を常に考え院内学級も設置しています。	ア	http://www.kmu.ac.jp/hirakata/medical/shinryoukamoku/h-shinryoukamoku14.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	あり	なし	なし		イ	http://			
2	放射線治療科	2	0	状況	×	×	○	×	リニアック、新型コバルトによる高線量率小線源治療装置および小線源放射線治療計画専用CTを保有し高精度の放射線治療を実現しています。	ア	http://www.kmu.ac.jp/hirakata/medical/shinryoukamoku/h-shinryoukamoku25.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
3				状況						ア	http://			
				実績						イ	http://			
4				状況						ア	http://			
				実績						イ	http://			
5				状況						ア	http://			
				実績						イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫 肝芽腫、Wilms腫瘍、胚細胞性腫瘍
------------------------------------	---